

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **みんなの家いずみ**

日付 平成16年7月21日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)

広々とした田園の中に位置し、春には桜、桃の花が、あたり一面に咲きほこり、季節を感じることできるのどかな環境である。隣接の小学校からは子供たちの元気の良い声が聞こえてくる。

母体は医療法人弘友会。病院、介護老人保健施設、リハビリセンター等を運営し緊急時の対応、身体機能の維持に必要なスタッフもそろっている。

入居者、家族、ホームで働く職員ともに安心できる体制である。開設以来三年になるが、ほとんどの職員が継続、安定して勤務されていることからそのことが伺える。

職員は明るく、大変よく気遣いができている。事あるごとに入居者の写真を撮っている。その時々の入居者の表情を逃さないように。との思いである。

入居者の記録は全て、その家族に公開されている。よく記入され、記録を見ればその時の入居者の状況、気持ちや表情まで思いうかがぶようだ。

質の高いスタッフが明るく穏やかに見守りを行い、落ち着いた”くらし”の支援に”しっかり”と取り組んでいる。安心と信頼に込めているホームとして高い評価をしたい。

改善の余地があると思われる点
なし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「いつも幸せ、ずっと幸せ、みんな幸せ」がモットーで、まず職員が楽しくなければならぬという思いがある。 入居者には、自分の家族、自分の家と思ってもらえるよう関わっている。そして1日でも長く、充実した日々を過ごせるよう前向きな取り組みが行われている。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 毎日が、楽しく生活できるよう、心により添うことを大事にしている。特に、みんなと共に行えること、楽しめることがあればと、思っ工夫されている。 また、無理強いはせず、入居者のしたいことに協力するという取り組み姿勢を大事にされている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居者の方は、かつての職業をよく覚えている。過去の経験、生活歴を把握し、入居者本人が活かしたいと思っている能力を引き出せるように気遣いをされている。また、入居者同士が会話しているときや、自室に帰られたときは、見守りに徹している。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 入居者の家族とも密に連絡を取りながら、入居者への見守りを行っている。1日でも長く充実した日々を過ごせることを願いつつ職員は一日一日を大切に取組まれている。			